



あいちビジョン スタート 2020



■あいちビジョン 2020 ~日本一の元気を暮らしの豊かさに~



植木まつり開催中です!

キャンペーンリーダーの嶋田、岡本、瀬古の皆さん

愛知県の羅針盤となる新しい地域づくりビジョンが3月に「あいちビジョン 2020」として策定され、新年度、スタートしました。グローバル経済の進展や新興国の台頭などにより世界規模での大都市間競争が激化する中、本県も本格的な人口減少・高齢社会に突入します。計画の策定趣旨・目的は、リニア中央新幹線(品川-名古屋)の開業後の2030年頃を展望し、2020年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示すこととし、基本目標は「日本一の元気を暮らしの豊かさに」です。

I. 2030年の社会経済の展望

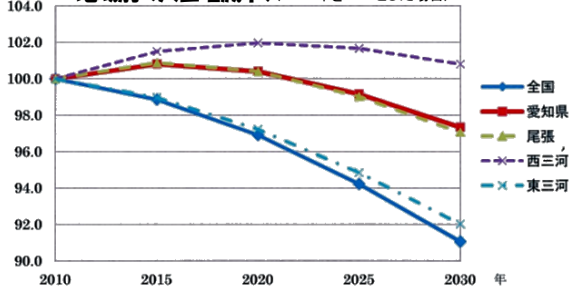
<未曾有の超高齢社会・人口減少の進行> 愛知県は2015年の747万人をピークに人口減少に移行、2010年から2030年までに生産年齢人口(15~64歳)は約10%減、老年人口(65歳以上)は約32%増加。2030年の高齢化率は27.7%(全国31.6%)と予測、単身世帯も大幅に増加。

<アジアが牽引する世界経済とグローバル化の進展> 2020年代には中国が世界一の経済大国になる等アジアが最大の経済圏に、日本など先進国の成長力は低下。

<災害リスクの増大と環境・エネルギーリスク> 南海トラフ巨大地震など防災・減災の取組、エネルギー供給の多様化等や環境負荷低減の取組がより求められる。

<リニア中央新幹線開業のインパクト> 2027年開業により交流圏が大幅に拡大し国土構造に大きな変化をもたらす。

地域別の人口増減率、(2010年を100とした場合)

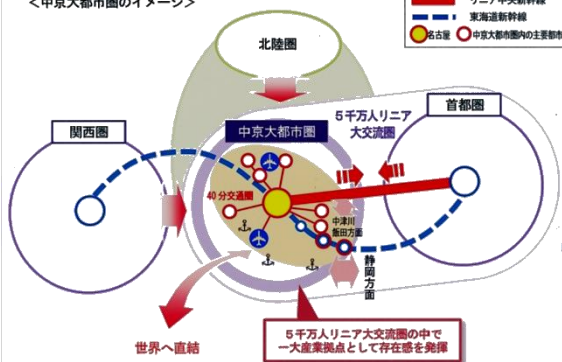


II. めざすべき愛知の姿

<リニアを活かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏>

<中京大都市圏のイメージ>

■ リニア中央新幹線
■ 東海道新幹線
● 名古屋 ● 中京大都市圏内の主要都市



2045年の大阪開業まで、首都圏から中京圏に及ぶ5千万人規模の巨大な交流圏の西の拠点となる。名古屋を中心に80~100km圏を中京大都市圏とし、首都圏の吸引力に対し独自の機能を備えながら、世界と直結する一大産業拠点の役割を担う

<日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点>

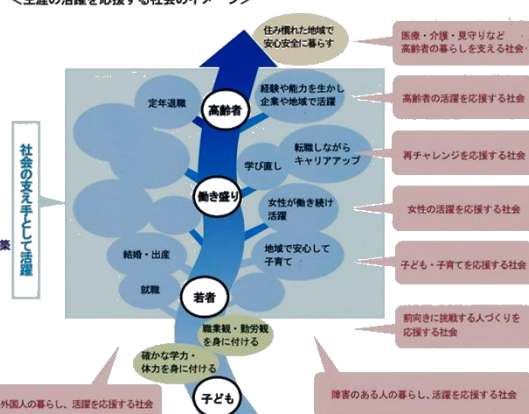
<産業の革新・創造拠点のイメージ>



交通網の整備により優位性が高まる中、国内外から企業・人材が集まり革新的な技術を創出。成長市場に積極的に展開しグローバルな生産ネットワークの構築により中枢性を高めるとともに、首都圏のサービス産業等と連携し相乗効果を図る

<安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会>

<生涯の活躍を応援する社会のイメージ>



誰もが各ライフステージにおいて活躍し全員参加で支える社会。人生90年時代を健康で安心して地域で暮らす社会を実現。地震や犯罪から県民を守り、持続可能な地域社会をめざす。

STEP 21 県政 REPORT





III. 2030年に向けた地域づくりの戦略と基本目標

<中長期的な展望をもった地域づくり>

新東名、東海環状自動車道など完成し 2020 年ごろには広域交通ネットワークが概成。2020 年の東京オリンピック開催、2027 年のリニア開業を念頭に、航空・港湾の整備による世界との直結性の強化、企業誘致、イベント開催など戦略的に中京大都市圏づくりを進める。また、2022~2024 年には団塊の世代が後期高齢者となり医療・介護需要が一気に増加することへの対応など安心・安全に暮らせる地域社会を構築していく。

<経済活力と豊かな暮らしの好循環>

2030 年に向け行政ニーズの拡大が見込まれることから、第一に経済活動を活発にし、それにより財政を豊かにし、県民サービスの向上を図り、豊かな暮らしの実現につなげ、好循環を生み出す。

<あいちビジョン 2020 の基本目標>

リニア開業による三大都市圏の役割の変化等も見据えつつ以上のことを踏まえ「**日本一の元気を暮らすの豊かさ**」を基本目標とする。

IV. 重要政策課題と主な政策の方向性

- ①中京大都市圏 ~5 千万人リニア大交流圏の西の拠点となる大都市圏に向けて
- ②グローバル展開 ~世界から活力を取り組める地域に向けて
- ③産業革新・創造 ~日本の成長をリードする最強の産業県に向けて
- ④農林水産業 ~競争力ある農林水産業に向けて
- ⑤文化・スポーツ・魅力発信 ~世界から人を惹きつける魅力ある大都市圏に向けて
- ⑥教育・人づくり ~前向きに挑戦し、キャリアアップできる人づくりに向けて
- ⑦女性の活躍 ~女性が元気に働き続けられる社会に向けて
- ⑧子ども・子育て応援 ~少子化の流れを変える社会に向けて
- ⑨健康長寿 ~「人生 90 年時代」を健康に生きられる社会に向けて
- ⑩障害者支援 ~身近な地域で共に暮らせる新しい社会に向けて
- ⑪防災・防犯 ~災害や犯罪に負けない、強靱な県度・安全なまちづくりに向けて
- ⑫環境・持続可能なまちづくり ~100 年持続可能な次世代のまちづくりに向けて

V. 地域別の取組方向・・・尾張地域

めざすべき将来像：中京大都市圏の中核として高い求心力と世界的な交流拠点性を持ち、多様な魅力、次世代産業、高い居住環境等を形成し

リニア開業のインパクトを受け止め、世界に開かれた、人・モノ・情報が活発に行き交う大都市地域

をめざす。 ~4月29日いなざわ植木まつり

26日愛知県中央メーデー式典

28日タイ日親善国際交流使節団市長表敬訪問

5月6日梅酒盛神事(国府宮馬まつり)

8日稲沢市老人クラブ連合会総会

10日社会福祉法人たんぽぽハウス設立祝賀会・子ども会総会

18日尾張水防・防災訓練

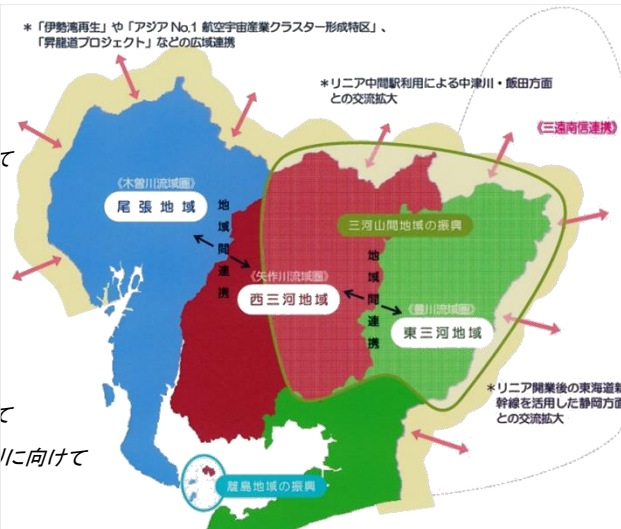
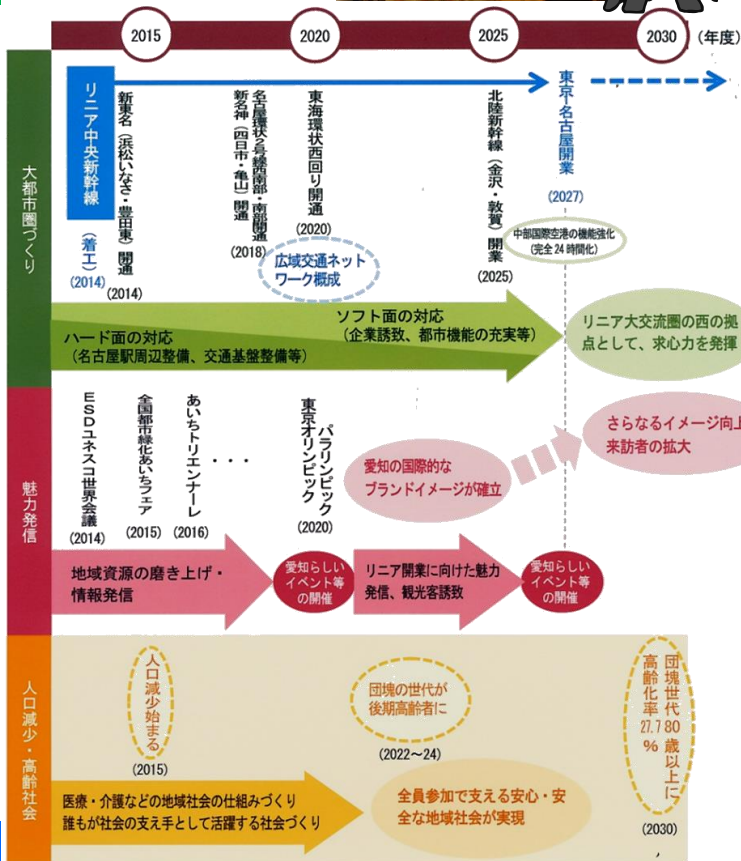
STEP 21



稲沢市消防団では最も長く 45 年に亘り

表彰に輝いた石黒幸吉団長が勇退、県、市、企業等の退職された方々とともに感謝です。後任の小沢団長はじめ消防団の皆さんには引き続き市民の負託に応えて頂くようお願い致します。未来へつづくまちづくりへ 一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

<地域づくりの考え方イメージ>



地域づくりの方向性と主な政策

- ①世界とつながる玄関口としての機能強化(名駅のスーパーターミナル化、セントレアの機能強化等)
- ②大都市名古屋をはじめ、各都市の魅力を生かした地域の賑わいの創出
- ③次世代産業の育成・強化と地域産業の活性化
- ④大都市地域としての利便性を活かした、質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり
- ⑤災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

4月1~2日民主党県議団で期末合宿、丸1日缶詰めで政策議論です。

